

# さくら介護グループ

# 家事代行に参入

全国で訪問介護やデイサービスを手掛けるさくら介護グループ(広島市)は家事代行サービスに参入する。まずは都心の高齢者や共働き世帯を主な対象にサービス提供を始め、順次拡大する。既に東南アジアやハワイなど海外でメイド派遣サービスを展開、準備している。海外での経験を新規事業に生かして、先行する大手に追いつき、事業拡大を目指す。



海外で培ったノウハウを国内で生かす(ベトナムでの作業イメージ)

## 国内外でサービスを拡充する

訪問介護やデイサービスなど国内280拠点  
新たに東京で家事代行も

ベトナム  
8月にメイド派遣を開始

タイ  
4月にメイド派遣を開始

米ハワイ  
現在は介護サービス。メイド派遣も計画



## まず都心向け 海外ノウハウ活用

直営のほか、業務委託も活用することで、需要の見込める都心を中心に拠点を順次増やしていく。当面は月間300人の利用規模を目指す。

「XくらSamant ha(サマンサ)」と名付け、月内にも東京都港区に3〜4人のチームを配置する。提供するのは炊事や掃除、洗濯など家事全般。募参りや大掃除など一部の特殊な分野は除く。高齢者のほか単身者や共働きなどで時間に余裕のない世帯の利用などを想定している。

基本料金は1時間3000円。契約期間やサービスの頻度などに応じて順次割り引きプランを用意し、割安感を打ち出す方向だ。

さくら介護は2014年4月、タイでメイド派遣サービスを始めた。7月末時点で150人が利用者している。8月にはベトナムで同様のサービスを始めた。現在は介護サービスを提供中の米ハワイでも、メイド派遣の開始を予定している。家事代行サービスは二子学館など介護大手が既に展開している。さくら介護グループはタイやベトナムでの経験を生かして早期にサービスレベルを高め、効率的な人員配置を実現する。依頼者との人間関係構築がスムーズにいくようなスタッフへの研修も施し、利用者の獲得を目指す。

さくら介護はヘルパーを派遣する訪問介護やデイサービスを国内でフランチャイズチェーン(F)展開する。広島県内に10拠点、全国に280拠点を持つ。海外に対しては日本で蓄積した介護分野のノウハウを輸出する一方、日本へは海外で学んだメイド文化を家事代行サービスとして導入し、国内外でサービスを拡大したい考えだ。